



自信・笑顔・希望の提供

真友ゼミ 通信

2023年3月号

## 真友ゼミからのお知らせ

- ・春期講習の申込受付中！詳しくはスタッフまで
- ・紹介キャンペーン実施中！詳しくはスタッフまで



## 【進路・受験コラム】受験までの道筋を考える（今月担当：仙台校 小笠原）

3月に入り国公立大後期試験や私立大追加合格などの動きもあるので、まだまだ最後まで予断を許さない状態が続きます。

そして新年度に入ると次の受験も始まります。特に2023年度の高2生からは指導要領が変わっているため、2025年度入試から情報が加わり社会科も取り組み方が変わります。共通テストが始まって間もないですが、2024年度入試は現行の科目編成で受験できる最後の年となるので、新高3生は是非とも現役で志望校合格を決めたいところです。

そのためにも、受験生の心構えとして「成績が上がったらここにしよう」ではなく、「今年1年かけて志望校に合格するためにこうしよう」と思うことが大事です。

国公立大、私立大どちらでも構いません。1月には合格に届くための力が必要とすると…10月くらいからは過去問演習に入り入試問題に慣れながら弱点を無くしていくことが必要。すると夏休み明けには基本事項の確認の2周目に入りすべてを網羅することが必要。そのためには夏期講習で基本事項の復習1周目を終わらせておくことが必要となります。

かなり簡潔に書きましたが、合格への道を逆算していくと非常にタイトなスケジュールになることは想像できるでしょうか。よって後になってから志望校を上げようとしても、そこに合格するためのスケジュールが一層タイトになるので頓挫しかねません。志望校のランクを下げることはいつでもできます。共通テストの結果が出てからでもできます。大事なのは、これからの1年間挑戦し続けるためにどれだけ自分を鼓舞できるかです。そのために「行けるところ」ではなく「行きたいところ」を目指すことが必要なのです。

高校は通学圏が狭いですが、大学は日本中どこでも、あるいは海外も選ぶことが可能です。4年間そこで生活することも考えるとワクワクしてきませんか？

ぜひこの1年、未来へのカギを手に入れるため、楽しんでいきましょう。



## ワンポイント学習方法 (今月担当: 仙台校 大瀧)



何事においても3回見直せとはよく言われることですが、一度解いて答えが分かっている問題を、どうして何度もやり直す必要があるのかと問う方がいます。確かに近年では企業の新人研修などでも、情報漏洩を防ぐ為か資料を持ち帰って復習できない所もあるようですから、内容を1回見て覚えられる能力が重要視される世の中なのは確かです。

また、効率的な生活のためには時間短縮も確かに大切ではありますが、それでもやはり繰り返しの効果があることに変わりはありません。

志望校の出題の傾向をつかめるのはもちろんですが、そのみならず、問題の出題形式、パターン、鍵の見つけ方、そして解き方に至るまで、実は同じ問題を繰り返し解くことによって感覚が身につく、新しい問題が出て来ても解けるようになってくるのです。もっとも、単にだらだら繰り返しても時間の無駄なので、解くのに苦労した問題や解法の理解に時間のかかった問題などにポイントを絞る工夫も必要でしょう。

要は、一度解けたと思っても、それだけでは実力になっていないということです。「分かった」だけでは力にはなりません。「出来る」にするためには感覚を体にしみこませることも大切なのです。



## 合格体験記 | 茨城大学-人文社会科学部 合格 (2022年卒)

▼高田北城高校 卒業 村山くん (上越高田校)



国公立大学に合格でき、とても嬉しく、達成感を感じています。高校入学直後は、特に勉強をすることもなかったために成績は徐々に下がる一方でしたが、入塾するまでは危機感を持つこともなくスマホばかりいじっていました。受験勉強で大変だったのは、受験期後半で得意科目の点数が伸び悩み始めたことでした。

それでも毎日繰り返し学習することで、最終的には日本史 100 点満点中 84 点、国語 200 点満点中 171 点と得点も上がり、自信にもつなげることができました。この経験から、継続することの大切さを学びました。

一方、苦手科目(理系)は頑張ってもキツイだけで伸びず…という状態でした。だから当初は「私大にしたい」としきりに言っていました。真友ゼミの先生が「国公立にも理系科目の配点がほとんどない大学がある。例えば茨城大学(人文社会科学部)なら文系科目 1100 点に対して理系科目は 150 点しかなく、理系科目が苦手な人にとっても向いている」と教えてくれたことで、「それなら国公立を目指してみよう！」という風に思えるようになりました。

受験を通して学んだこととして後輩の皆さんに伝えたいことは、苦手科目を潰すだけでなく、得意科目を伸ばすことも大きな武器になる、ということです。

自分は理数科目が苦手だった(だから私大にしたかった)のですが、得意科目の国語と日本史を徹底的に伸ばすことで、理数科目の穴を埋め合わせて国公立大学の合格を勝ち取ることができました。だから、いくらやっても苦手科目が伸びない人がいたら、その苦手を潰すのに一生懸命になるのも良いのですが、自分の得意分野を徹底的に極めるというアプローチもありだと思います。



## スタッフから今月のひとこと



長岡校塾長:大矢

勉強は「やりたい (WANT)」で始めるのと「やらねば (MUST)」で始めるのでは効率に大きな違いが出るそうです。いわゆる「幸せホルモン」とも呼ばれるドーパミン (神経伝達物質) が集中を高めるからだそうです。

わかる、楽しい、と進める勉強は効率が高いが、「勉強しなさい」と注意されてする勉強は効率が低いままとなります。「行きたい!」と強く思う高校や大学を目標とすることは学習の効率を上げることにもつながるわけです。わくわくできる目標を設定して高い効率で学習を進めて行きましょう。



指導部: 齋藤

「過去と他人は変えられない、変えられるのは自分と未来」、ある講演会で講師から発せられたフレーズです。これから受験生になる皆さんは様々な結果と向き合っていきます。計画通り順調に進む人もいれば、思うように進められずに悩む人もいるかも知れません。でも、大切なのは「さあ、これからどうするか」ですよね。そう、自分と未来は変えられるのですから!

## クチコミ・感想募集中! (URL をタップ)

真友ゼミでは、塾ナビや Google MAP への**クチコミ**を募集しています!

**忌憚のないご意見**をお待ちしております!

いただいたクチコミは校舎運営の参考にさせていただきます。

また、スタッフの励みにもなりますのでぜひご協力をよろしくお願いいたします!

(紙面の方は「塾ナビ 真友ゼミ」または Google MAP で「真友ゼミ」とご検索ください)

◆塾ナビ ([https://www.jyukunavi.jp/review/sms/input?juku\\_id=14139](https://www.jyukunavi.jp/review/sms/input?juku_id=14139))

◆Google MAP (☆評価だけでも歓迎です!)

新潟校 (<https://g.page/shinyuzemi-niigata/review?rc>)

三条校 (<https://g.page/shinyuzemi-sanjyo/review?rc>)

六日町校 (<https://g.page/shinyuzemi-muikamati/review?rc>)

長岡校 (<https://g.page/shinyuzemi-nagaoka/review?rc>)

上越高田校 (<https://g.page/shinyuzemi-takada/review?rc>)

仙台校 (<https://g.page/shinyuzemi/review?rc>)



## 編集あとがき (担当:佐藤)

いよいよ年度末です。3月は国公立大中期日程と後期日程、私大入試がありますので、まだまだ受験真ただ中です。受験生の皆さんには最後の最後まで諦めることなく挑み切ってほしいです。一方、1、2年生の皆さんは新学年まで1カ月になります。今年度1年間を振り返ってみてどうでしたか。「ここが良かった」ということもあれば、「もっとこうしたかった」と反省することもあるかと思います。1年を通して失敗したことや成功したことを振り返り、ぜひ4月からの新学年生活に活かしていきましょう。

